

明るく元気の出る町

平成10年2月1日発行・毎月1日 編集・発行/秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

ひ 東由利町

1998 2

NO.515



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

新春の夢語り合

町づくりに活発な意見

◎新春町政座談会



新春恒例の座談会（移動町民室）が1月5日から9日まで、公民館の七分館主催で開かれました。

この座談会は地域町民の声を町政に生かすと、毎年年明け早々に行われているもの。各分館からは今年の町づくりに対する活発な意見や提言がなされました。

座談会では最初に阿部幸悦町長が、平成9年度の事業についてふれたあと、今年予定されている事業、課題、抱負などについて説明、「明るく元気が出る町づくり」を継続していくなどと挨拶しました。

以下、座談会内容について抜粋しながら紹介します。

問 林道（松柴・新沢）の法面が毎年崩れてひどい。

答 町単独での法面保護は難しく、崩れたものを除去する形でやっている。

問 大雪になれば流雪溝に水が来なくなる。水量確保を。

答 昨年田屋橋の所から水を入れて、今年本格的にやってかなりの水量を確保している。

玉米分館・玉米会館
一月七日・33人出席

問 減反を心配している。説明会などで農家を納得させるべきではないか。

答 農協と打ち合わせをしている。明け一月十三日に県での会議、十九日に生産調整対策協議会、二十二日に生産調整幹事会を開き、二月上旬に農家への説明となる。

問 館合バイパスのカーブが昼頃まで凍つていて心配。横断歩道を設けるなどしてほしい。

答 学校関係には教育委員会からPR、指導するように話し合っている。看板を設置することも考

えていた。横断歩道も公安委員会にお願いしていきたい。凍結については融雪剤を散布するなどして事故防止に努めたい。

問 須郷田堰はボツメキの水が水道水に使われているので、水不足気味だ。将来の水確保のため、ダムなどの考えはないか。

答 ボツメキの溜め池整備を予定しているので助けになると思う。

問 須郷田集落の流雪溝は三分の二完成しているが、残りの一番大事な所が出来ていない。陳情が採択されたと聞いているが着工はいつ頃になるのか。

答 館合バイパスが既に完成しているのですが、引き続き県に要望はして行く。

問 下郷分校をなくさないで続けてほしい。

答 館合バイパスが既に完成しているのですが、引き続き県に要望はして行く。



▲昨年、12月25日館合バイパス完成

新春町政座談会

岩館のいちょう前に バスの駐車場がほしい

問　ゴミが町部では少なくなり続いていると思うが沢目ではまだある。農機具や車など捨てないようきれいな町に。

答　ゴミは外から持ち込まれることもあり、全国的なモラルの向上が必要であり、運動を盛り上げ

問　老人の会合では難聴の方が多いので、大蔵館婦人研修室にマイク設置してもらいたい。

歩行困難な方も多い、日本間に上がる簡単な設備も願いたい。

問　農道が完成すれば市助橋

と言わていながら、できるかぎり継続してほしいと願っている。

ため、第四次計画では本校に吸收されようとしている。正式に廃止

▲玉米分館座談会（1月7日）



▲玉米分館座談会（1月7日）

問　館舎地区の下水道工事の工事計画を教えてほしい。

答　館舎新田、八日町の一部が平成十年度、館舎地区が平成十一年度、それ以外は平成十二年度の予定。供用開始は順次に。

問　下水道工事後の舗装復旧は気持ちのよい道路に。

答　復旧についてはすぐやりたいが、四～五メートル位掘り下げられる所もあるので、大体落ち着いたところ（一年位）でやりたいと思っている。

蔵分館・大蔵館

一月七日・38人出席

問　山菜採りシーズンになるとマナーの悪い入山者のゴミ捨てなどが年々増加傾向にあり、大変困る。監視やチラシなどによる指導はできないか。

答　マナーの向上を願いたい。不法投棄は罰則も強化されている。

問　小田の農道が整備中であるが何年にできるのか。

答　平成十一年度完了予定の事業計画となっている。

町から下郷分校をなくさないでほしい

て行かなければならぬ。廃車も所有者の分かるものも含めて撤去したいと思つてゐる。

問　館舎地区の下水道工事の工事計画を教えてほしい。

答　館舎新田、八日町の一部が平成十年度、館舎地区が平成十一年度、それ以外は平成十二年度の予定。供用開始は順次に。

問　下水道工事後の舗装復旧は気持ちのよい道路に。

答　復旧についてはすぐやりたいが、四～五メートル位掘り下げられる所もあるので、大体落ち着いたところ（一年位）でやりたいと思っている。

蔵分館・大蔵館

一月七日・38人出席

問　山菜採りシーズンになるとマナーの悪い入山者のゴミ捨てなどが年々増加傾向にあり、大変困る。監視やチラシなどによる指導はできないか。

答　マナーの向上を願いたい。不法投棄は罰則も強化されている。

問　小田の農道が整備中であるが何年にできるのか。

答　平成十一年度完了予定の事業計画となっている。

らハンドマイクか一階のものを使用するか、早急に解決する。スロープは常時置いてあるのでそれを使ってほしい。

答　塗装などの維持を受益者でやるのが困難なために町に移管されたもので、説明の時点で同意を得たものと理解している。自分たちで維持管理するとすればそのままにしておく。

問　銀杏を見に来る大型バスの駐車する場所があればと思うのだが。

答　入口周辺を検討してみる。地籍調査はどこまで進んでいるのか。

問　銀杏を見に来る大型バスの駐車する場所があればと思うのだが。

答　入口周辺を検討してみる。地籍調査はどこまで進んでいるのか。



▲蔵分館座談会（1月7日）

新春町政座談会

答 外周が一応終わって今一周目に入っている。縄延びは地目によつてばらつきがある。税の賦課は面積が確定して閲覧が終わつてから課税している。

問 昨年全国共進会を見たら、秋田県はあまり成績がよくなかつた。町での認定牛は何頭か限定されているのか。また、五万円の補助金は町単独か、農協とタイアップしているのか。

答 全国共進会は改良が主眼であり、秋田県は十年前の種牛が代表であつたことが起因していると思うので、早期に改良を図らなければならぬと思う。

認定牛は毎月市場毎に選抜、厩舎回りをしている。町では一頭五万円（年十一頭）、農協が四万円を支給している。

問 植樹祭は町でやるのか。

答 主体は県の緑化推進委員会である。

問 旧住吉小校舎を改造し、民俗資料の展示をしたら。

**子供創作たいこがやれる
場所と道具がほしい**

仁賀保矢島館合線の見通しを知りたい

うには具合がよくない

と思う。地元管理負担を考えれば、いつかの

時点で思い切らないと維持が大変と思う。

問 子供の創作太鼓などやれるような

具などは宝くじ助成などで考える。

答 やるとすれば道具などは宝くじ助成な

どで考える。

問 地下ノ沢地区の農道の舗装整備をやつてももらえないか。

答 補助事業は十ヘクタール以上でないと

できない。町単の産業

やつてももらえないか。

答 補助事業は十ヘクタール以上でないと

できない。町単の産業

やつてももらえないか。

答 平成十一年度あたりを目標

に希望していく。

問 仁賀保矢島館合線の見通

しは。

答 矢島側から入っていたが地

滑りで止まっている。とりあえず

今の林道を舗装したらという方向になつてている。

問 板戸地区の道路改良はどうなつている。

答 今年、トンネルと聞いてい

る。

問 沢々の田圃が草だらけで景観が悪いのではないか。

答 周辺環境の整備を進め、地域の農家自身の考え方も参考にしながら考えていきたい。

老方分館・老方館

一月八日・24人出席



▲住吉分館座談会(1月8日)

問 上里小松キヨノ宅までの農道の改良をお願いしたい。

答 心配はしている。平成十一年度に、砂利押さえ程度でもと考えている。

答 新町地内で流雪溝や下水道工事により舗装道路が痛んで

いる。早急に全面的な修復を。

答 平成十年度に道路の舗装修復をやる予定。

問 老方館の方向にも流雪溝を設置してほしい。

答 町単独でやれるようなものでもないので、県と相談したい。

答 後町線の道路が下水道工事後、悪くなつてるので直してほしい。

答 雪消え後(七月頃)部分的にでもやりたい。

問 終末処理場で温かい湯が出るそうだが、試験的に後町線に流雪溝を作り流してほしい。

新春町政座談会

黒渕行きのバスを
組合病院経由にしてほしい

問 終末処理場もでき下水道の利用になるが、住宅整備資金はなんとかならないのか。
答 老人居室整備資金や農業改良資金などが利用できる。
問 警察駐在所が移転すると聞いたが道路延長の考えは。

問 羽後交通バスの黒渕行きを組合病院経由にしてほしい。
答 春のダイヤ改正に向けてお願いしている。

答 アイデイアとしてはいいと思うが。先進地では処理場内やつていた。

答 現場を見てそのとおりに感じている。県に相談しているが、公安委員会などと協議してやったもので時間はかかる。

答 一定額以上二分の一、限度五十分円まで補助している。

答 見積書や領収書があればよい出してもらえるか。

答 育のためにも施設を。

答 三割以上の減反で、山の田の転作は容易でないので、自動車に優先的。両前寺方向に歩行するには具合が悪い。

答 町で移転先の土地を探してほしいと言われている。道路も先を見てやつていかなければならぬのではないか。



▲老方分館座談会（1月8日）

子供の遊べる場所と遊具がほしい

法内分館・克雪管理センター
一月九日・32人出席

答 町営住宅団地にも設置できればと考えている。

答 児童館の補修に補助金を出してもらえるか。

答 地滑り対策工事を由利土木事務所ですすめていたが、現地を

が、知らぬ間に道がなくなり畑にもいけない。（元阿部重助さん）

答 見積書や領収書があれば二分の一の助成制度がある。

答 減反は皆さんの協力を得ながらお願いしていきたい。全国のとも補償は十アール当たり三千円、一番高いのは飼料作物。転作分よりも米価下がり分にウエートを置く形になっている。

答 減反は皆さんの協力を得ながらお願いしていきたい。全国のとも補償は十アール当たり三千円、一番高いのは飼料作物。転作分よりも米価下がり分にウエートを置く形になっている。



▲法内分館座談会（1月9日）

答 里道整備がなされているが、知らぬ間に道がなくなり畑にもいけない。（元阿部重助さん）

答 特産品と言われるものは一億円以上といつて。地味な努力が必要。少量多品目を加工してやるべきと思う。町全体の加工所計画も持っている。

答 一次計画は整備できた。二次の計画は文化資料館的なものとして出しているが、財政的な体力をつけながら実施という段階であり、しばらくやれないと思つてゐる。宿泊施設をという要望もある。

答 三次計画は文化資料館的なものとして出しているが、財政的な体力をつけながら実施という段階であり、しばらくやれないと思つてゐる。宿泊施設をという要望もある。

新春町政座談会

宿分館・高瀬館

一月九日・23人出席

調査した上で、復元出来るよう所であればどのような対応が出来るか協議のうえ後で回答する。

問 情報公開条例に対する町の対応について。

答 情報公開法が通常国会で通過の見込みで、施行は平成十一年後半から十二年あたりと思われる。町では、住民から要望があつたときは情報提供してきた。知る権利に応えるため要綱か条例で進める予定である。

問 介護保険法制定に伴い、

自治体によりその介護内容が異なり、極端な場合保険あつて介護なしと言う話も聞かれるが、町ではどう予想しているか。

答 平成十二年四月施行となる。事業量もあり輪郭も見えてくる。と思うので、来年度、モデル事業で策定していく。百点ではないが対応出来ていくと思っている。

問 八塩いこいの森に愛称をつけてほしい。

黄桜の里にふさわしく、
全町に黄桜植樹はどうか

答 一回つけた名前はなかなかつかない。分校もなくなるようにも聞かれらない時期がくるのかなと思う。

答 いつかは決断しなければならない将来ビジョンを。

答 分校もなくなるようにも聞かれられる。小学校統合、分校廃校など分校も四次計画の中に廃止で盛ら

が、いい名前など提案いただければと思

が、いい名前など提案いただければと思

う。

問 道の駅への出入りは

出口、入口それぞれ専用となっているが、逆に出入りする車が結構多く危険である。

答 利用者、

弱者の立場から東北地方建設局で調査をした。平成十年度予算に再整備の予算要求をするそうだ。その中に標識を大きなものにすることも含まれている。

答 黄桜の里にふさわしく道

の駅を中心に、全町に黄桜の植樹をしたら。

答 平成八年から緑の羽根の募

金の還元として、苗木の交付を緑化推進委員会を通じて自治会や団体などに行っている。基本は三本

と判断した。

問 町の農業対策として稻作はこのままなくなるのでは。

答 日本人の主食は米であるが、その消費量も少なくなっている。条件のよいところは絶対残すべき。石沢川沿いの田圃はよいと思うが沢田は大変。地域の農地をどう守っていくかが問題。二十一世紀は農業の時代だと信じる。

問 小学校もなくなる、下郷

分校もなくなるようにも聞かれられない時期がくるのかなと思う。将來ビジョンを。

答 いつかは決断しなければならない時期がくるのかなと思う。

答 いつかは決断しなければならない時期がくるのかなと思う。

問 堆肥センター構想はどう

れている。そのとおりでないにしても、子供の数によつては存続が無理な時期がくるかもしれない。

問 下水道工事も進んできたが、水源にはどの地域も心配ないのか。

答 大琴水道は一日の給水能力が一〇五トンある。船木の女清水からの途中に、新たに配水池を設置する計画である。これができると一日当たり一五〇トン給水でき、十分な水量が確保できる。今後、水道料金などについての話し合いも必要であるが、地元と協議し、早期に設置する。



▲宿分館座談会(1月9日)



▲宿分館座談会(1月9日)

八塩いこいの森に愛称をつけてほしい

一組。希望の向

きは応募してほしい。

問 以前に大

平スキー場の夏期利用(グラス

スキーなど)に

ついて話があつたが検討された

か。

答 利用者の

数、畜産の町と

しての採草地利

用が最優先であ

り、むずかしい

と判断した。

問 町の農業対策として稻作

はこのままなくなるのでは。

答 日本人の主食は米である

が、その消費量も少なくなつてい

る。条件のよいところは絶対残す

べき。石沢川沿いの田圃はよいと

思うが沢田は大変。地域の農地を

どう守っていくかが問題。二十一

世紀は農業の時代だと信じる。

問 小学校もなくなる、下郷

分校もなくなるようにも聞かれ

られない時期がくるのかなと思う。

答 いつかは決断しなければな

く。各分館の要望によつて実施

画はあるが運営主体が決まってい

ない。地区(集落)別には管理運

営の面で容易でないと思う。

元にあればよい。

答 町全体としての加工所の計

画では物足りない。二次加工所を

設けたらどうか。また、女性に

とって荷物搬送は大変なので地

元にあればよい。

問 直売所は一次加工品のみ

では物足りない。二次加工所を

設けたらどうか。また、女性に

とって荷物搬送は大変なので地

答 循環型の農業に堆肥センタ
ーは必要だ。中山間事業の計画の
中に構想はある。

堆肥センターコロナ構想はないか

るので対応する。

袖山分館・袖山館 一月五日・18人出席

新春町政座談会



▲袖山分館座談会（1月5日）

問 大吹川消防小屋の所の樹
にステップをつけてほしい。

答 現場を見て対応したい。

問 赤倉の道路に業者が入つ
てかなりデコボコしているので
碎石をお願いしたい。

答 業者が補修すべきだが、田
圃の所までは町の管理となつてい
てかなりデコボコしているので
碎石をお願いしたい。

問 田圃の崩れたところがあ
るが手伝つてもらえないか。

答 大規模のものであれば補助
事業でやれる。

問 河川の法面は田圃まで崩
れないと直してもらえないか。

答 雪が消えてから現地を見て
みた。国の査定基準に合うかど
うかが問題である。（背後地の危険
度の問題）

問 須郷団地（出羽丘陵事業）

の下の沢が両方から崩れている。
現地を見て対応してほしい。（草
地も崩れてきている）

答 春に現場を見たい。県の方
にも見てもらう。

問 須郷団地（出羽丘陵事業）

の下の沢が両方から崩れている。
現地を見て対応してほしい。（草
地も崩れてきている）

光り輝く日本であり続けるため
「いま、国では二十一世紀も
も兼ねてということですから新
年の楽しみでもあります。ま
ご挨拶申し上げました。

まだ先が見えて来ない状況であ
ります。しかし、秋田新幹線

山紫水明の里づくりの基本的
な施設、下水道事業も順調に進
むところです。行政改革、財政
構造改革などいずれも将来の日
本を考えて行くときに大事な事
柄ばかりです。また一方では、
山一証券が破産したり銀行がつ
ぶれるなど、景気の低迷とあわ
せて大変な苦労をしていること
であります。

町長日記

新春町政 座談会によせて

恒例の分館主催の新春町政座
談会が七地区で開催されました。
た。この座談会は地区の新年会

も兼ねてということですから新
年の楽しみでもあります。ま
ご挨拶申し上げました。

まだ先が見えて来ない状況であ
ります。しかし、秋田新幹線

山紫水明の里づくりの基本的
な施設、下水道事業も順調に進
むところです。行政改革、財政
構造改革などいずれも将来の日
本を考えて行くときに大事な事
柄ばかりです。また一方では、
山一証券が破産したり銀行がつ
ぶれるなど、景気の低迷とあわ
せて大変な苦労をしていること
であります。

にと、六大改革を打ち出してい
るところです。行政改革、財政
構造改革などいずれも将来の日
本を考えて行くときに大事な事
柄ばかりです。また一方では、
山一証券が破産したり銀行がつ
ぶれるなど、景気の低迷とあわ
せて大変な苦労をしていること
であります。

『こまち』の開通や秋田自動車
道の開通があり、秋田もいよい
よ高速交通体系の中に入つて行
ける年になり、総じていい年で
あつたと思います。

町では地域活性化事業の第一
次計画が地場産業センターの建
設をもつて終了しました。道の
駅、温泉保養施設『湯樂里』、
お食事処『やしお』と一緒に事
業であります。また、『ぶれつ
そ』のテナントのみなさんの頑
張りで町民の利便性の向上が図
れることを強く期待します。

今年は気の重いこともあります。
す。四年続きの豊作の結果、米
の在庫量が四百万トンにもなる
ことが圧力になって米価が低迷
しましたが、国では適正な在庫
量にして米価の低迷を防ごうと
して三〇パーセントもの転作を
農家にお願いして行くというこ
とにになりました。

どの地区でも町づくりにまた
地域づくりに熱心な意見が出さ
れました。期待に応えるべき努
力をしていくことをお約束して
会場を後にしました。

各分館長さんはじめ役員のみ
なさんのご苦労に心から感謝申
し上げます。

難しい課題のない年はないの
であります。

7 広報ひがしゆり 10.2.1

地上最後の楽園、バリ島へ

東由利町・大内町合同海外研修が十一月二十三日から十一月二十九日までの七日間の日程で行われました。今回の研修に参加したのは、両町で十二人。本町からは男女それぞれ三人が参加しました。

一万三千以上の島々からなる多島国家インドネシア。研修生たちは、それぞれの印象を胸に無事帰国しました。以下、参加レポートを抜粋しながら紹介します。(敬称略)

「バリ島全般について」

- ・面積五千六百平方キロメートル、人口三百万人、九〇パーセントがヒンズー教徒。
- ・悪霊に入るのを防ぐため、寺院や住宅の門は狭く作る。
- ・寺院は人が中に入るような建物ではなく、祈りを捧げる対象物そのものである。短パン、スカートの人は腰巻を巻かなければ敷地に入れない。

- ・学校は六・三・三・四制で、義務教育は中学までと日本と同じだが、飛び級や義務教育での落第もある。高校進学率は七五パーセントだが卒業率は低い。
- ・バイク(九〇CC)は三十万円、一、〇〇〇CC程度の自動車は二百五十万円。

てしまつたと考えられている。
・外周の壁にブッダの生涯が彫刻されている。ブッダはわきの下から生まれた事や、結婚していたなど知らなかつた。
・インドネシアでは、仏教徒はごく少数のため、修復に国費を使うことができない。寄付等に頼つてゐる。

「プランバナン寺院について」

- ・ヒンズー教寺院(シバ神を祀る)
- ・地震により壊れて修復しているが、これもお金がない。

「シンガポールについて」

- ・普通の会社員の給料は十萬円程度。

「公団住宅六百万円、マンション六千万円、一戸建四億円。」

- ・自動車の税金は一二三〇パーセントと高い。自動車を持つ権利も抽選であり、その権利にプレミアが付くなど一般人の購入は難しい。

「自動車にランプが付いていて、六十キロ以上出すと点滅する。高速道路以外でパト力に見つかると即罰金。」

東由利・大内町合同海外研修

海外研修のメモから：佐藤和広(蔵)

【東由利・大内町合同海外研修】
東由利町・大内町合同海外研修が十一月二十三日から十一月二十九日までの七日間の日程で行われました。今回の研修に参加したのは、両町で十二人。本町からは男女それぞれ三人が参加しました。

一万三千以上の島々からなる多島国家インドネシア。研修生たちは、それぞれの印象を胸に無事帰国しました。以下、参加レポートを抜粋しながら紹介します。(敬称略)

▲ジョグジャカルタのレストランにて



▲ボロブドゥール遺跡は18世紀に発見された。

【バリ島の生活】
・食事は一日二食。朝に調理するが朝食はコーヒーだけを飲み、昼と夜食べる。インドネシアでは手で食事をするので、調理したては熱い、というガイドの説明の真偽は定かではない。

・家督は末っ子が継ぐ事が多い。
・日本より一時間遅れの時差。
・インドネシアについて

【バリ島の生活】
・大学十校、専門学校十五校と多いが就職難である。
・工場がなく、観光関連産業が主である。ホテルへの就職のため語学の専門学校に入る人が多い。

【バリ島の生活】
・バリ島の生活は

【ジョグジャカルタについて】
・ジョグジャカルタも大学五十校、専門学校三十校と多い。

【ジョグジャカルタについて】
・公務員の勤務時間は七時から十三時で、十三時以降は塾の先生等のアルバイトをしている。

【ボロブドゥール遺跡について】
・ボロブドゥール遺跡について

【ボロブドゥール遺跡について】
・十八世紀に建設された寺院で、院を建てたものの、イスラム勢力が強くなつたため、破壊され事を恐れて、土で埋めて隠し

【ボロブドゥール遺跡について】
・自動車にランプが付いていて、六十キロ以上出すと点滅する。高速道路以外でパト力に見つかると即罰金。

【ボロブドゥール遺跡について】
・六世紀に建設された寺院で、

【ボロブドゥール遺跡について】
・自動車にランプが付いていて、六十キロ以上出すと点滅する。高速道路以外でパト力に見つかると即罰金。

異国に思いを馳せて・小松由希子（宮ノ前）

成田を出発し、バリ島へ到着するまでおよそ十時間。飛行機から降りるとムツとした空気が体を包み、現地へ着いたのだという実感が湧く。バスでホテルへ向かう途中、クタというにぎやかな街を通り抜けて行く。数多く立ち並ぶ店は、煌々と店内を照らし、通りは、屋台や出歩く大勢の若者たちで込み合っている様子がバスの窓を通して目に飛び込んでくる。突然異空間にまぎれこんでしまったような不思議な感覚をおぼえたのが、旅の始まりだった。

バリ島での視察の間、印象的だったことは、現地の生活、文化、宗教などについての話。結婚の仕方や人間の関係性が強いため、離婚することはないという話は日本との違いを感じさせた。

また、仕事については、観光に関連したものだけで工場などはないということだった。農業に関しては米の収穫が年に三回あり、バリ人の六〇パーセントが農業を営む。

様々なバリの生活の説明を耳にしながら景色を見ていると、やはり自分が外の人間であり、足は踏み入れているものの、ほんのひととき現地を訪れただけの自分には、入り込めない何か遠いものを感じた。

ここでは、自分が外の人間であり、入り込めない何か遠いものを感じた



▲最後の研修地シンガポールの植物園にて

バリ島を視察した私たちは、ジョグジャカルタへ向かうこととなる。二日間にわたり、寺院や遺跡などを回つたが、特に印象的だったのは、インド最大の寺院であるボロブドゥール遺跡だった。丘の上に静かにそびえたつ壮大な姿。その巨大な遺跡が何百年もの間、人の目にふれることなく眠っていたという。八世紀に王朝の権力者によつて建てられたらしいが、誰によつて、どのくらいいかつて建てられたのかは、解明されておらず、何か神秘的な様相さえうかがえた。

その建設には想像を絶する数の人々が携わっているに違いない、様々な思いにかきたてられた。（後略・一部略）

最後の楽園・横山広喜（向田）

機内にて

十一月二十四日午前十一時。

ジャカルタへ出発。私たちが乗る飛行機（ガルーダインドネシア航空GA）はすでにインドネシアの香りが漂っている。

■バリの第一印象■

バリ着、夜十時。しかし暑い。猛烈に暑い。湿度も手伝つて、汗が止まらない。

■バリバザールにて■

夕食を楽しんでいると外から耳慣れない音楽が聞こえてきた。バロンダンスの始まりである。バロンの踊りはガメランというバリ島独特の楽器を使って行われていて、人の心の中にあ

る善と悪の戦いを物語つてくれる。このバリ独特の踊りは、神秘的で見ていて不思議な気分にしてくれる。

■ネカ美術館にて■

バリ絵画だけではなく、多数の外国人画家による作品も展示されていた。バリ絵画と、その文化の洗礼を受けた外国人画家の作品を比較し、見ていたら、とても興味深いものとなつた。

■研修を終えて■

様々な土地を回り、色々な文化に触れ、少なからず影響を受けた。この経験をいい方向で發揮できるよう、精一杯努力していこうと思っている。

深夜のバリの町並みはきれいで、いつまでもここにいたいという気分にさせた



▲タンパクシリン寺院には聖なる湧水の泉がある



▲数々の民族衣装を売る店が立ち並ぶ（バリ島）



▲旅も終盤。研修生もりラックス？

インドネシアが欲しかつた・長谷山孝子（向田）

私は以前から、太平洋戦争に大変興味がありました。ですから今回の旅行は思つてもみなかつたチャンスであり、私にとつて最高の研修旅行でした。

インドネシアは強制労働など日本に多くの被害をうけた国でした。戦争を始めるほどインドネシアが欲しかつたのです。印度ネシアにある地下資源が目

ても半袖でいられない時に、私たちはむしろ長袖など着ていられない国へ行きました。着いたとたん汗が吹き出できました。気温三十度を超えていたのです。空氣にも独特の臭いがありました。

人々のごつた返す空港から出て、一路ホテルへ向かいました。着いて間もなく、あつという間に日本が恋しくなりました。でも朝になるとその気は失せてしまいました。

そして何より、その近くソロモン諸島には私の尊敬する人物の一人、山本五十六元帥がうち落とされた碑があるので、

資源を「資源」と考へず、 自然の恵みと考へるインドネシアの人々

ホテルの真ん中にビーチがありました。昔はこの海と空に日本の軍機があつたのだと思うと、何だか海の色も暗く見えました。

バリ島の町はまるで戦後、これから経済成長を迎えるか・・・といった感じの所が多くたです。一方に目をやると、家？と思つてしまふような家に住んでいる人も沢山いるようでした。

周囲の風景を見ていて、一つ分かつたことがありました。資源を持つている国は暮らすのが

とても上手だということです。日本のように資源がなく人口ばかり増えると、人工的なものが増え、当然自然的な物は失われていきます。木々の伐採、破壊。しかし、インドネシアは違いました。資源を「資源」とは考えていないようでした。むしろ「自然の恵み」と考へているようでした。それだけですべいぶん違う感じがします。日本やアメリカ等では、「資源を眠らせておくのはもったいない。有効に使いましょう」なのに、インド

●研修日程●

- ◆11月23日 秋田～羽田～成田
- ◆11月24日 成田～ジャカルタ～デンパサール
- ◆11月25日 デンパサール研修「モンキーフォレスト・ネカ美術館・タンパクシリ寺院・ゴアガジャ寺院など」
- ◆11月26日 デンパサール～ジョグジャカルタ研修「ボロブドゥール遺跡・ろうけつ染め工場など」
- ◆11月27日 ジョグジャカルタ研修「プランバナン寺院など」～ジャカルタ～シンガポール
- ◆11月28日 シンガポール研修「植物園・公園など」～ジャカルタ～成田
- ◆11月29日 成田～羽田～秋田



ことぶき大学で 研修報告

一月二十日、ことぶき大学が朋楽荘で行われました。

今回は、合同海外研修に参加した団員によるインドネシアでの研修報告が行われました。参加者は数々のエピソードに耳をかたむけながら、気持ちを真冬の東由利町から、暖かいインドネシアの島々にはせていま



▲東由利、大内の研修生たちはインドネシアの生の文化にふれた

ネシアでは「資源は自然の産物なので大切にして使いましょう」と考えているのです。文化の発展の違いとも思うのですが、だとしたら日本はどうでしょう。資源を外国から九〇パーセント以上も輸入し、もしかしてとう時も考えず、水のように使っている。もし、一週間海外からの輸入がとだえたら日本はどうなるのでしょうか。インドネシアは大変な文化遺産も持っていました。仏教など日本にもなじみ深いものです。そして、その中に共通点もいくつかありました。たとえば日本代表「和式トイレ」。仏教のほとんどはそのトイレです。しかもインドネシアは、元日本の植民

以上も輸入し、もしかしてとう時も考えず、水のように使っている。もし、一週間海外からの輸入がとだえたら日本はどうなるのでしょうか。

インドネシアは大変な文化遺

産も持っていました。仏教など日本にもなじみ深いものです。今も昔も同じです。日本の侵略によつてその発展の方向を変えられてしまつた国、インドネシアに行けたこと、本当に嬉しく思います。一生の思い出です。

人々が「千円、千円」と言つて私たちに物をしつこく売りつけてくる姿に、昔の子供たちが「ギブミー、チョコレート」と言つてまとわりつく姿を重ねてしましました。

地ですから、その普及率も高かつたのです。そこに時代影響の一ページを見た気がしました。

復興途中的日本のような、人々の懸命に生きる姿は本当に心に響きました。

副団長が見たインドネシア

海外レポートのまとめとして、大内・東由利町合同研修で副団長を務められた小松重文さん（山崎）に今回の研修を総括していただきました。

アジア大陸とオーストラリア大陸の間に横たわる、高温多湿の海洋性気候の国、インドネシア。大小一万三千以上の島々からなる赤道直下の国は、四季のある日本とは対照的な人々の生活と文化があつた。

成田空港より七時間

南下した頃、ジャワ島上空で、水田の水鏡とイスラム教で魔除けの意味を持つ赤い屋根の家が見えた。

最初の目的地バリ島に到着、薄暗い空港出口で三十度近い熱気と鼻をつく独特な臭いが、外国人である私たちを出迎えた。

翌日、バリ島視察の開始。午前中なのに道路端には仕事がないのか、日陰で休む男たちが多く、前夜の活気とは正反対の光景が続く。その反面、道路で若者がバイクを走らせている。車とバイクの洪水の中、馬車が走つ

△プランバナン寺院は全て石。六つの神々を祭る。



から九世紀の建造物で、仏教の誕生を描いた彫刻の石が積まれていた。

また、ヒンズー教の遺跡ブランバナン（完全な神々）寺院は

全てが石の塔で六つの神々を祭っている。

各遺跡共に古代人の文明と高い技術にただ驚くばかり。

インドネシアには三日間滞在して、古代のロマンと文化に触れたが、全く機械化されない農業と観光を主体とした近代的な

文明と高い技術にただ驚くばかり。

印度ネシアには不思議だ。道路沿いには、木工細工、石の彫刻などの露店が立ち並ぶ。

バリ芸術を集めたネカ美術館は、バリにひかれた芸術家の作品が数多く並んでいた。

タンパクシリンはヒンズー教寺院で山間の聖なる湧水の泉があつた。

湖と山々を一望できる高原、キンタマーニでの雄大な景色を眺望しての食事は格別。

成田空港より七時間

車とバイクの洪水の中 馬車が走る不思議な光景が広がる

帰路、仏教僧の修行場ゴアガジャで、日本の歌を歌う子供と老人がいて、戦時中日本の占領地だつたことが分かつた。

各観光地にはかならず千円で民芸品を売る人が集まる。最初はうるさく感じたが、後半は慣れた。これも観光で生きる人々とのふれあいと思えば、苦はないならない。

翌日バリ島を後にし、ジャワ島ジョグジヤカルタに向かう。世界最大の仮想遺跡ボロブドゥールは、八世紀

四季のある日本とは対照的な生活と文化があつた

九回の飛行機移動は大変であったが、インドネシアの風景と人々の姿が今でも目に焼き付いている。

出発前にはあまり興味がなく、予備知識を持たずに出発したことを後悔している。観光が目的であれば言葉に困ることはないが、片言でも会話できたら違った交流もできたと考えさせられた研修だった。（後略）



出初式に一年の無火災祈る

平成十年東由利町消防出初式

今年一年の無火災を祈願すべく、一月六日にげんき館で消防出初式が行われました。

出初式は消防に従事する者が正月に出揃い無火災などを祈るもの。当日は、畠山勉団長を始めとする町消防団員、婦人消防隊員、町関係者など三百余名が出席しました。

式典では阿部幸悦町長が薬玉を開放後、団員らを観閲しました。

表彰状及び感謝状贈呈式では秋田県知事、消防団長、町長が永年勤続消防団員、模範団員等を表彰しました。

「昨今、県内外では

大規模な灾害が起つて

いる。消防団員の皆さんも郡内で一番若い団長を助け、皆で協力し

てがんばりあつてほしい。今年度も無火災を祈念する」と町長の告

示後、団長が「今年は自治体消防五十年のくぎりの年。今年一年間の無火災を祈願する」と訓示しました。



被表彰者は次のとおり。

【敬称略】()内は分団名

●県知事表彰●

■三十年勤続表彰■

團長・畠山勉

■二十五年勤続表彰■

前副分団長・大庭時晴(第五)、
前班長・大庭喜一郎(第五)

■二十年勤続表彰■

副団長・石綿喜代隆、本部員・
小松忠孝、分団長・斎藤真一

(第一)、班長・小野泰好(第二)、
副分団長・木島博(第五)、班

長・畠山和雄(第五)、前分団
長・畠山昭一(第三)

○秋田県

●消防団長表彰●

■甲種精勤章・団員■

鎌田敏(第一)、工藤三次郎
(第二)、伊東透(第二)、小松

典之(第三)、長沼利文(第三)、
伊東隆(第四)、遠藤誠功(第

四)、遠藤弘幸(第四)、遠藤慶
次(第四)

■乙種精勤章・団員■

小野健(第一)、渡辺正人(第
一)、小松五郎(第二)、小野昭

美(第三)、阿部忍(第四)、太
田光弘(第四)、浅田一夫(第

五)、大庭宏尚(第五)、鈴木徳
之(第五)

●同・消防施設 用地協力者●

小野邦一(宿)、木島敏(大台)

●本荘地区消防事務 組合管理者表彰●

救急現場協力者・祝沢自治会

●秋田県少年婦人防 火委員会長表彰●

優良婦人消防隊・蔵婦人消防隊

●県消防協会本荘市 由利郡支部長感謝状●

退職団員・前班長・石渡力造、
高橋和夫(第二)、団員・小野
浩人(第三)、団員・阿部和仁
(第四)、班長・佐々木静八(第
五)

団員・佐藤徳定(第一)、団員
高橋和夫(第二)、団員・小野
浩人(第三)、団員・阿部和仁
(第四)、班長・佐々木静八(第
五)

●東由利町長感謝状
・退職団員●

前班長・石渡力造、前副班
長・小松正幸、前本部長・畠
山昭雄、前分団長・小松佳和、
畠山昭一、前副分団長・佐藤
誠、小松正明、古関幸助、大
庭時晴、前部長・遠藤忠雄、
鈴木正昭、前班長・小松金蔵、
横山武男、大場隆、小松重文、
小松良徳、小野和敏、阿部盛
喜、遠藤守、鈴木誠治、大庭
喜一郎、小野長一、前団員・
小松睦男、小野悟、畠山悦也、
鉢崎和博、木島久一、阿部勲、
千葉和重、浅田誠、鈴木文一、
大庭忠幸、浅田照信、鈴木将、
佐々木堅一、佐藤一夫、小野
弘通、小松和之、小松芳範、
根田和春、村上伸、千葉友幸、
伊東賢悟

●東由利町長感謝状
・退職団員●

前班長・石渡力造、前副班
長・小松正幸、前本部長・畠
山昭雄、前分団長・小松佳和、
畠山昭一、前副分団長・佐藤
誠、小松正明、古関幸助、大
庭時晴、前部長・遠藤忠雄、
鈴木正昭、前班長・小松金蔵、
横山武男、大場隆、小松重文、
小松良徳、小野和敏、阿部盛
喜、遠藤守、鈴木誠治、大庭
喜一郎、小野長一、前団員・
小松睦男、小野悟、畠山悦也、
鉢崎和博、木島久一、阿部勲、
千葉和重、浅田誠、鈴木文一、
大庭忠幸、浅田照信、鈴木将、
佐々木堅一、佐藤一夫、小野
弘通、小松和之、小松芳範、
根田和春、村上伸、千葉友幸、
伊東賢悟

●東由利町長感謝状
・退職団員●

前班長・石渡力造、前副班
長・小松正幸、前本部長・畠
山昭雄、前分団長・小松佳和、
畠山昭一、前副分団長・佐藤
誠、小松正明、古関幸助、大
庭時晴、前部長・遠藤忠雄、
鈴木正昭、前班長・小松金蔵、
横山武男、大場隆、小松重文、
小松良徳、小野和敏、阿部盛
喜、遠藤守、鈴木誠治、大庭
喜一郎、小野長一、前団員・
小松睦男、小野悟、畠山悦也、
鉢崎和博、木島久一、阿部勲、
千葉和重、浅田誠、鈴木文一、
大庭忠幸、浅田照信、鈴木将、
佐々木堅一、佐藤一夫、小野
弘通、小松和之、小松芳範、
根田和春、村上伸、千葉友幸、
伊東賢悟

●東由利町長感謝状
・退職団員●

確定申告はお早めに

申告相談は二月九日から始まります。申告は住みよい地域づくりのための貴重な財源となる町県民税・国民健康保険税を算定するときの重要な資料。また、本荘税務署での確定申告の受付は二月十六日から三月十六日（個人の消費税申告期限は三月三十一日）までとなっています。病気や高齢等で申告会場にどうしてもいきない場合は、税務課（☎ 69-2111）まで。

Q. 申告が必要な人はどんな人ですか？

A. 申告が必要な方は①平成十一年一月一日現在、東由利町に住所のある方で、平成九年中に所得（収入）があつた方。②給与所得及び雑所得（公的年金など）のある方で、それ以外に営業、農業、不動産（家賃、小作料など）の所得があつた方。③平成十年一月一日現在、町内に事務所、事業所のある方などです。

Q. どんな書類が必要でしょうか？

A. 当日になつて混乱しないよう早めの準備を。おむね次のような書類が必要です。

【申告するすべての方は】

▼申告書▼印鑑▼生命保険料、個人年金保険料・損害保険料の支払証明書▼医療費の領収書（寝たきりで医師が交付した「お

**所得税の確定申告は2月16日から3月16日まで
個人事業者の消費税および地方消費税は
3月31日まで**

【申告するすべての方は】

（營業所得のある方は）

▼農機具購入証明書（大農具）
耕、賃刈などの領収書及び雇用費明細書（領収書）▼農業用自動車任意保険領収書▼農機具の修理費（一機種五万円以上）▼制度資金及び農機具の利子証明書（JA、農機具店で発行）など

▼農業用自動車売買契約書▼賃地、主に次のようなもの

【給与所得のある方は】
支出した必要経費がわかるもの
【農業所得のある方は】
方は源泉徴収票

【雑所得のある方は】
ている方（金融機関で発行する
残高証明書と税務署より送付さ
れている住宅取得等特別控除証
明書）
【源泉徴収票】
【給与所得のある方は】
税金（自動車税・重量税）・車
械・器具（道具）の購入または
修理の領収書②事業用自動車の
売買契約及び燃料費・修理費・
料・測量費など）の領収書
【農業所得のある方は】
記済の場合は登記済書など

▼収入・支出の明細がわかる帳簿や関係書類
【大工・左官及び日雇いの方は】
■年間の稼働日数証明書（月別
仕事先と賃金の明細）▼大工・

左官で請負仕事の場合は①機械・器具（道具）の購入または修理の領収書②事業用自動車の売買契約及び燃料費・修理費・料・測量費など）の領収書
【譲渡所得のある方は】

▼譲渡した物件にかかる売買契約書、または売買価格の証明できる書類▼譲渡費用（仲介手数料・測量費など）の領収書
【譲渡所得のある方は】
土地・建物などを売った場合

検査の領収書③請負工事ごとの損益計算書④全国建設工事業国保の保険料領収書

平成10年申告相談日程表

月	日	曜	午前（受付9時～11時）		午後（受付1時～3時）	
			自治会名	申告会場	自治会名	申告会場
2	9	月			沼・杉森	杉森会館
2	10	火	舟木・畠村・奥ヶ沢	高瀬館	大琴（上組）	高瀬館
2	12	木	大琴（中組）		大琴（下組）	
2	13	金	宿・下吹		高屋・土場沢・大台	
2	16	月	小倉	克雪センター	中ノ沢・高村・桂台	克雪センター
2	17	火	野田・新処		十二ノ前	
2	18	水	横渡・島	大蔵館	藏・黒沢	大蔵館
2	19	木	岩館・宮ノ前		蔵新田	
2	20	金	寺田・茂沢	役場会議室	祝沢	役場会議室
2	23	月	上通		下通	
2	24	火	横小路・湯出野		中通・上里	
2	25	水	新町（1～3組） 営業・その他事業	有鄰館	新町（4～7組） 営業・その他事業	有鄰館
2	26	木	家ノ下・八日町	玉米会館	宇戸坂・館西・五海保	玉米会館
2	27	金	下小路・新沢・松柴		山崎・久保・板戸	
3	2	月	館合新田（上）・須郷田		館合新田（中・下・跡見坂）	
3	3	火	大吹川・須郷	袖山館	袖山	袖山館
3	4	水	向田・智者鶴	八塩館	泡ノ沢	八塩館
3	5	木	黒淵		地下ノ沢・蓮沢	
3	6	金	石高	田代福祉館	田代	田代福祉館
3	9	月	高戸屋・下小屋・時雨山			
3	10	火	所得税		所得税	
3	11	水	所得税	有鄰館	所得税	有鄰館

東由利町民の皆様へ

本荘由利科学技術研究振興会募金 活動へのご協力のお願い

本荘由利圏民が一丸となって誘致を実現した秋田県立大学本荘キャンパスは、平成11年4月の開学まであと1年半に迫り、現在急ピッチで校舎施設の建設工事が進められています。

この県立大学誘致実現を契機として、21世紀を展望した地域の産業振興と文化の発展が強く期待されるところであります。

このような本荘由利地域の明るい将来を切り拓くとともに、21世紀を力強く創造していくため、広範な分野の産業と県立大学を中心とした高等教育機関との連携を図ると共に、本荘由利地域の科学技術研究の拠点である本荘由利産学共同研究センターが、平成13年の開所を目指して建設されることとなっております。

このような地域の情勢に鑑み、県立大学や産学共同研究センターなど本荘由利地域における科学技術研究の振興を支援することを目的として、先般、本荘由利科学技術研究振興会を設立いたし、広く県内外からのご寄付をお願いしているところであります。

つきましては、本趣旨をご理解賜り、絶大なご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当振興会の活動についてのお問い合わせやご寄付につきましては、下記事務局または東由利町役場企画課までご連絡いただきますようご案内申し上げます。

本荘由利科学技術研究振興会 会長 須田精一

記

■募金活動期間 ■ 平成10年8月19日まで

■募金受付額 ■ 1,000円から受付しております。

■募金方法 ■ ①直接事務局へご持参、②ご連絡による事務局員の訪問、③指定取扱金融機関への振り込み

■問い合わせ先 ■ 本荘由利科学技術研究振興会事務局 電話：0184-27-1401

つ好雪お芯かて山でにりと
いき嫌うつのけく地被食「うそ
ばまいは上部くる帶害ベウ元の根
まずが桜にい分で一月からますはソの芽
ソメイヨ八重櫻によ捨る鱗好す。下山期は、
ヨノを片花芽花飛来が
は葉を花芽はおのに高
はおのに高
つ好き嫌いは桜の品種です。鱗状的好み、ウソかう
あり、八重櫻によつて
はははおのに高
（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

林業だより

■ 桜の被害

緑の募金

2月1日～5月31日

森の中 緑がゆれる 笑ってる

緑の募金に関するお問い合わせは
(社)国土緑化推進機構
東京都千代田区平河町2-7-5
電話 03-3262-8451(代)
または、各都道府県の緑化推進委員会
までお願いします。



木材共販市況

径 級	単価／石	備 考
直材30cm以上		
同24~28cm	5,200~5,400円	
同14~22cm	5,200~5,300円	乾燥材
同14~22cm	4,900~5,100円	生材
同13cm以下	2,500~3,000円	
曲り材	2,000~3,000円	

乾燥材の一部に応札があるが、全くの模様眺めで、落札率100パーセント以下と低調。



▲男子大回転で全県優勝した裕介くん

一月十二日、鳥海矢島スキー場で行われた県中学校スキー大会大回転で、東由利中三年の小松裕介くん（上通）が初優勝を飾りました。二位に一秒以上の大差をつけての完勝でした。

十二月下旬から三週間近く北海道で高校生との強化合宿に参加するなど、この大会に向け頑張ってきましただけに喜びもひとしお。

一月下旬から二月上旬にかけて東北大会、全国大会が控えている裕介くん。健闘が期待されます。

二位に一秒以上大差で優勝

裕介くんスキーで全県優勝



▲役場に寄贈された門松

暗い話題が多かった平成九年。正月の景気づけのためにと、上里の小野昭一郎さん（六九）から門松を寄贈していただきました。今回で役場には三回目の寄贈です。また、小野さんは役場以外にも、ぶれっそ、老方・小松医院、佐藤組にも寄贈しました。一週間あまりの製作日数を費やしたこの門松は、全て形が違うとのこと。

「自分がマメなうち、やれるだけやりたい」と話していました。

役場などにかどまつ寄贈

正月早々の景気づけ



▲ガラス拭きの奉仕作業をする中学生

年末最後の地区奉仕作業を

老方館で中学生ガラス拭き



▲黙々と作業する除雪ヘルパー

ひとりぐらしなどのお年寄りのために除雪作業をと、今年から除雪ヘルパーが活動を始めました。これは、佐藤長一さん（新処）、遠藤三雄さん（野田）のお二人が町内の高齢世帯等を対象に除雪の手伝い（有料）をするものです。除雪以外も安否の確認、灯油入れ、通院介助も行います。どの世帯からも感謝されているようです。「初めてですが、一生懸命がんばります」と二人は話していました。

除雪ヘルパー活動開始

高齢世帯等の家の除雪を

昨日、十一月二十九日、中学二（三）区（新町・中通）の生徒二十余名が、一年間の汚れ落としをと老方館の清掃奉仕作業を行いました。この奉仕作業は、地区の中学生が、毎年一回程度、地区の神社など公共施設の清掃を行っているものです。

当日は十時から十二時までの二時間、ガラス拭きを行いました。終了後、ガラスは見違えるほどキレイに。大人たちは、感謝の気持ちを生徒に話していました。

町のあっち、こっちから・

今年初めての農產品収納

葉たばこ収納

三五六三キロ、十アール当たり重量は一九二キロとの結果でした。

前回、平成八年度収納状況は、販売総額で一億四千四百三十八万一千円、十アール当たり平均価格が五十三万円でした。今年は総額、十アール平均価格とも昨年度を下回りました。



▲葉タバコの収納作業状況

増田取扱所ではこの結果について、「春先の鳥海おろしによる予想を超えた低温、夏の強風による根切れや葉切れ、畑での病気などが影響しているのではないか、過去、今回のような例はなく、全体で一割以上の減ではないだろうか」と話しています。



▲初日、収納作業を終えた黒渕地区生産者の皆さん



1月23日、みどり保育園で手芸教室。渡辺シメさん(下小路)の指導で手袋を利用した人形作り。

みどり保育園・手芸教室



12月2日より行われた家庭バレー交流大会。最終日1月14日、タウンオフィスAが優勝した。

家庭バレー交流大会



1月20日永慶保育園で歯科教室が行われた。ぬいぐるみ劇「はいしゃさん大好き」が園児に好評。

永慶保育園・歯科教室



1月15日新春恒例の囲碁大会(町囲碁同好会)。参加者は年一回の囲碁大会を楽しんだ。

写真で紹介する町の出来事

新春囲碁大会

東由利文化クラブ



時雨忌のしつとり重き砂篩ふ むしかがり句集「虫篝」発刊

高橋民治郎さん（舟打場）

「あるひらめきが生まれた瞬間、言葉が生まれるんです」と、話す

高橋民治郎さん（七十五歳・俳号・高橋薰青）。このたび句集「虫篝」を発刊されました。

この句集は、舟打場の生活から生まれた「古里抄」（二百六十五句）、最近まで続いた出稼ぎ生活での「縁区抄」（三百三十五句）から成っています。

二百部の自主出版の句集でした

が、おもいがけぬ反響があり、三十通ほどの鑑賞文や手紙が届き、また俳誌に紹介もされました。

昭和二十六年頃、師匠である小島岸郎校長先生に、句作の手ほどきを受けたこと、俳誌「新雪」において新雪賞を受彰したこと、三十年にもおよぶ横浜で出稼ぎ生活のこと・・・俳句の一つ一つに

日々の思い、俳句に託す

高橋さんは回想します。
日々の思いを託しているんですけど

生活に密着した俳句が高橋さんの特徴です。代表作である一句、「時雨忌のしつとり重き砂篩ふ」

（縁区抄）、「椎茸のすんぐり太り霞立つ」（古里抄）。前句は「芭蕉への思いと、出稼ぎへの思い」が、初期作品である後句は「自然と古里への思い」がそれぞれ託されていること。

「それでも、思いというものは言葉で語り尽くせないです。出稼ぎの句は出稼ぎをした人でなくては分からないです。そこが魅力なんでしょうね」。言いたいことは直接語らず、五・七・五の言葉で表現するのが俳句の魅力です。

新年に入り、作句した四十句か

椎茸のすんぐり太り霞立つ



▲「虫篝」発刊を祝した集まりにて



アイドルをさがせ!

としき
鎌田敏輝くん (2歳)
お父さん:敏さん
お母さん:育子さん

【黒渕】

「とにかくワンパクな子供です」と話すのはお母さん。おばあちゃんの悦子さんは「きかないけれどかわいい」、ひいおばあちゃんのキノさんは「寝る時に見送ってくれるのがかわいい」と、家族みんなに好かれているとのこと。昨年十二月には弟の将輝ちゃんが生まれ、張り切っています。やきもちも焼くけれど、気を使う時は使うとか。お兄ちゃんは大変です。

「最近人見知りをするようです。好きなものは、公園のすべり台。晴れた日には、館内の農村公園や、蔵のおーくらんどに行つては遊んでいます。ボウリングにも凝ります。嫌いなものはトマト。将来は元気でおもしやりのある子供になつて欲しいです」

東由利の文芸

せせらぎ句会

初詣り一句添えての願い事
餅搗や臼守る藁の二三本
早々と葉書に咲かす福寿草
ささはしの一歩をしかと初詣
雪とのみしるして余白初日記
初便り読みつつ通る廊下かな
ひらひらと雪降る里に賀状待つ
荒れて来し鳥海なおも恵方とす
通信簿出す子出さぬ子冬休み

下里
小倉
遠藤トミ子
通
小松
忠正
藏
高戸屋
高戸山
木
船
木
上里
小野石路子
吉川
葉子
大庭豊石工門
山崎
小笠原亮子
小松順之助
佐藤正義
阿部澄子
レイ
正昭
敏雄
正昭
小笠原トミ
宮野源二郎
高橋ヒデ子
佐藤貞子
菊地常作
高橋民治郎

ほつほつと離れともし灯ごと今
南縁に農事メモ解く三日かな
初笑い話し上手のお客かな
注連飾つけて古きも我が愛車
恵方へと銀色返す鳩の群れ
湯の煙さかんにのぼる淑氣かな
抱かれてもみじ手合わす初詣
水茎の一句そえたる師の賀状
持ち寄りに箸をはこんで女正月
春着の子カメラの前にはにかめり
不老長寿のくすりの注文初電話
初春はべろの真下や能代駅
牛飼いの臭う体に初日受く

横渡
湯出野
藏新田
小笠原トミ
宮野源二郎
高橋ヒデ子
佐藤貞子
菊地常作
高橋民治郎
横小路
横渡
湯出野
藏新田
小笠原トミ
宮野源二郎
高橋ヒデ子
佐藤貞子
菊地常作
高橋民治郎
横小路
横渡
湯出野
藏新田
小笠原トミ
宮野源二郎
高橋ヒデ子
佐藤貞子
菊地常作
高橋民治郎

童話をあなたに

まこちゃんとアヒルのプツカがお風呂に入ると中から大きな海ガメが出てきました。

どうもこのカメは海で泳いでいるうち迷い込んでしまったようです。

そうこうしているうちに、ペンギン、アシカ、カバ、まこちゃんのお風呂場には沢山の動物が迷いこんできます。

スクールララ

一年を振り返って

点に着く前にほどんどダウンの状態だつた。ようやく学校に着いたときには、汗は乾いて寒いし、足はがくがくしてもう一步も歩けなかつた。



この本を初めて見た時、本の中からゆらゆら白い湯気が上がり、シャボンのあわがブクブク、とてもあつたかい絵本に感じました。

子供と入るお風呂なんかも遊

そんな中、突然の雨。大きなクジラがあわだらけのみんなにシャワーをかけてあげたのでした。

お風呂をいやがる子はいませんか? こんな不思議なお風呂に入るんだつたら楽しくて待ち遠しいでしょうね。

びの延長にできればもつともつと「おふろだいすき」になるんじゃないでしょうか。

紹介者・小野邦子さん(宿)



おふろだいすき

むかしむかし

八

雪崩に消えた子供たち

そぞろように降る雪に覆われ、人も里も眠っているかのような境・板戸の部落ですが、その日、大正七年一月十

四日の朝は、地鳴りする強風が雪を巻きあげ、猛吹雪になつたのでした。

館合小学校高等科二年の佐藤秀三郎さんは、毎朝の通学時には先頭になり、

低学年の面倒をみているのでしたが、家では、大吹雪だから学校を休むよう

にと強く引きとめるのでした。

入学以来、無欠席の秀三郎さんは、

吹雪くらいで大事な学業を休むことは

できないと、防寒布をまとい、館合小学校まで四キロ余りの吹雪の山道を仲間を伴つて登校しました。

岩城町の亀田小から、本町の教育委員会にかわいい新聞が届きました。この新聞を作つたものは同小四年生の桑嶋彩香さんでした。この新聞を送つてくれたのは菊地良之助さん、四年生小松東一郎さんです。この新聞を作つたものです。

社会科の学習の一環として、各地域の様子を調べて見ようと一人一人資料を集め、パソコンなどを利用して新聞を作つたものです。

地域の様子を調べて見ようと一人一人資料を集め、パソコンなどを利用して新聞を作つたものです。

社会科の学習の一環として、各地域の様子を調べて見ようと一人一人資料を集め、パソコンなどを利用して新聞を作つたものです。

東由利新聞をつくつたヨー!

資料を活用して自分なりにまとめて、みんなの前で発表したことがあり、みんなの前で発表したことがあり、みんなの前で発表したことあります。

子供たちにとつて良い経験になつたと、担任の佐々木先生の手紙が同封されていました。



▲彩香さんが作った新聞



下郷分校 一年 小松 誠くん

早いもので、入学してもう一年が経とうとしている。

この一年を振り返って、一番印象に残っているのは強歩大会だ。これは、町の約半分の地域を歩くというとてもつらい行事だった。出発したのはいいのだが、中間地

が、今となつては心の糧になるよい経験だったと思っている。

辛い事ばかりが思い出されるが、今となつては心の糧になるよ

だ。僕は外でこんなにやくを売る係になつたが、十一月の風は冷たくきつかった。また、生まれて初めてみんなの前で歌を歌つたのだが、ステージの上では足が震えっぱなしだった。

二学期の始め、野球部に入部し、今まで頑張ってきたことも忘れられない。しかし、全然上達せず、我ながら困つたものだと思っていい。来年は、レギュラーになれなくともいいから、必ずうまくなつてやろうと心に誓つてある。

辛い事ばかりが思い出されるが、今となつては心の糧になるよ

い経験だったと思っている。

雪をかきわけ探し回るのでしたが、からだが凍え、力ついた二人は、こ

2月▶データ東由利

（12/1～/31）

住民基本台帳人口 ()は前月比

■男	2,594人	(△2)
■女	2,744人	(+4)
■計	5,338人	(+2)
■世帯数	1,397戸	(+1)

()は1月からの累計

- ・出生6人(44)・死亡8人(62)
- ・転入8人(88)・転出4人(107)

■火災出動	0件(2)
■救急出動	15件(120)
■交通事故	3件(15)
・死亡	0人(0)
・傷者	4人(18)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	1人(4)

広報クイズ

問・笹倉トンネルをかつて利用していた鉄道名は?。答えが分かった方は?。答えが分かった方は?。答えた方が当選しました。



文・写真 小松忠正氏

アメリカ原産の多年草で、日本には明治の初めに渡来したといわれます。茎は紅紫色で、高さは二メートルくらいになります。葉は卵状橢円形で互生し、軟質で先が尖ります。夏から秋に茎から花穂を出して薄紅色を帯びた白色の花を総状花序(花穂の下から上に花が開く咲き方)につけ、花後紫赤色の果実をつけます。最近根の部分に抗腫瘍、鎮痛作用が認められ研究がすすめられています。

町内の二、三の方々から「何か分からぬ草がある」というお知らせを頂いてお伺いしたら、この草でした。

郷土の野草

NO.156 ヨウシュヤマゴボウ
(ヤマゴボウ科)

戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

(12月21日～1月20日届出)

1/8 小松 周助さん	12/20 下田天郎さん	1/25 遠藤 信広さん	1/4 高橋 望美さん	12/24 佐々木 友美さん	12/24 佐々木 泉美さん
98・勅 三伯父 新町	79・サトミ・夫久保	横浜市 祝沢	70・謙 藏・母 黒澤	70・昭 郎・養母 大台	70・志和子・夫 高村

●ご結婚おめでとう

ごめい福をお祈りいたします

町の宝もの

（第70回）
笹倉トンネル（祝沢）

消費税及び地方消費税は、納期限内に完納しましょう!

町社会福祉協議会に神坂昌二さん（草加市在住・宿出身）から芳志が届けられました。

トンネルの長さは百九十八・六メートル、大型の自動車も通行できる幅・高さのトンネルで、かつて老方も横手間の横荘鉄道が使用しました。この路床が今では舗装され活動道路として役立っており、昭和五十八年県道に認定されました。トンネル内部はいたみが目立つようになつたことから、本格的な補修作業が行われていました。（十一月下旬取材）



日本海岸の文化と経済的発展の夢を追つて、平鹿・雄勝・由利三郡の有志資本によつて大正五年（一九一六）横手で創立総会

を行ひ、二井山の老方間は第六期工事で、昭和五年十月に開通し、その時つくられたトンネルです。近くに笹倉不動滝と神社があり、トンネル内においしい湧水があつて、利用者も多いようです。

文・畠山昭一氏

カレンダー 2月の行事

3 節分	第14回大平雪まつり (大平スキー場)
7～8	2月子牛市場（広域畜産市場）
8	第2回大平スキー場 ボーダークロス大会（10時）
8	大平スキー大会（10時）
11	建国記念の日
15	市民スポーツ祭・綱引き (健康増進センター)
17	健康大学
20	ことぶき大学（有鄰館）
22	婦人シンポジウム（有鄰館）
22	第7回秋田県選抜 雪上野球大会 (勤労者野球場)



ほつとひといき

出不精で、あまり海外に興味はないのですが、今回の合同海外研修地の一つ、バリ島には関心が。ここには、ゴングや青銅製など打楽器の合奏であるガムランや、舞踊劇に合わせ男声で「チャッチャッ」と合唱するケチャなど独特的な音楽があります。生で聞きたい気持ちもありますが、実際に行かないで、CDで音楽を聞き、その国を想像するのが自分向きなのかも知れません。バリに限らず民族音楽は聞くとなかなか面白いです。（さ）